

資料 6

H30 見直し対象訓練科 モデルカリキュラム例

普通課程 造園サービス系：造園科の時間表

区 分	教科の科目	授 業 科 目	時間数	備 考
系基礎学科	植物学概論	植物学概論	40	
	栽培法概論	栽培法概論	30	
	生産工学概論	生産工学概論	40	
	植物病理学及び農薬	植物病理学及び農薬	40	
	土及び肥料	土及び肥料	40	
	農業機械	農業機械	40	
	安全衛生	安全衛生	30	
系基礎学科計			260	
系基礎実技	農業機械操作実習	農業機械操作実習	60	
	土及び肥料準備実習	土及び肥料準備実習	40	
	栽培基本実習	栽培基本実習	80	
	安全衛生作業法	安全衛生作業法	20	
系基礎実技計			200	
専攻学科	庭園概論	庭園概論	40	
	材料	材料	10	
	設計及び製図法	設計及び製図法	30	
	造園法	造園法	50	
	測量法	測量法	40	
	仕様及び積算	仕様及び積算	20	
	関係法規	関係法規	10	
専攻学科計			200	
専攻実技	根掘り及び植栽実習	根掘り及び植栽実習	50	
	造園実習	造園実習	90	
	庭園管理実習	庭園管理実習	60	
	養生	養生	30	
	製図実習	製図実習	20	
専攻実技計			250	

系基礎＋系専攻時間合計 910

標準外時間＋一般教 490

合計 1400

訓練科目カリキュラム表

科名	園芸サービス系造園科	教科の区分	系基礎学科
教科	植物学概論		
訓練教科	植物学概論	時間	40H
訓練目標	植物の系統、分類、形態、構造等の基礎的なことを知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
植物の生活	・植物の生理 ・植物の生態	15H	
植物の器官	・植物の体と働き ・植物の体と働き細胞のつくりと働き ・組織、組織系 ・器官	25H	
		合計 40H	
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	園芸サービス系造園科	教科の区分	系基礎学科
教科	栽培法概論		
訓練教科	栽培法概論	時間	30H
訓練目標	植物の種類及び栽培法についてよく知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
花卉の分類と性質	花卉の分類、名称、性質、用途など基礎知識 ・1～2年草性の花卉 ・宿根生の花弁 ・球根 ・温室花卉 ・木本花卉 ・花壇の種類		10H
緑化樹の分類と性質	緑化樹の分類、樹木名、性質等 ・針葉樹 ・常緑広葉樹 ・落葉広葉樹 ・花木類 ・実物 ・地被類 ・特殊樹種		10H
栽培環境	生育にとっての的確な栽培技術、環境、設備について 気象条件に対する栽培上の対応 土壌条件に対する栽培上の対策		5H
栽培管理	整枝、施肥、病虫害防除、圃場管理の基礎について		5H
			合計 30H
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	園芸サービス系造園科	教科の区分	系基礎学科
教科	生産工学概論		
訓練教科	生産工学概論	時間	40H
訓練目標	生産工学について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
作業の改善 及び標準化	作業の改善、標準化の意義と目的		10H
工程管理	工程管理の意義、目的、各工程表による管理手法 ・横線式工程表(ガントチャート) ・曲線式工程表 ・ネットワーク式工程表		10H
品質管理	品質管理の基礎知識について ・品質管理の意義 ・工事管理と品質管理 ・品質管理の方法		10H
運搬管理 及び設備の保全	運搬及び機械管理の意義と目的 ・抜開/除根 ・造成 ・掘削 ・積み込み ・運搬 ・敷均し/含水率調節 ・締固め		10H
			合計 40H
使用する機械器具 等			

訓練科目カリキュラム表

科名	園芸サービス系造園科	教科の区分	系基礎学科
教科	植物病理学及び農薬		
訓練教科	植物病理学及び農薬	時間	40H
訓練目標	農薬の種類、性質及び使用法について知っていること。 植物の病害虫及びその防除法について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
植物の病害虫 及びその防除法	病害虫の防除の基礎知識として ・植物の病気 ・病気の種類と特徴 ・病気の診断と防除 ・害虫の種類と特徴 ・害虫の同定・診断と防除 ・病害虫の年間防除計画	20H	
農業薬品の用途 ・効果・人体への 影響	農業薬品の基礎知識として ・農薬の定義・分類 ・農薬の使い方 ・散布時の安全対策 ・農薬に関する法規	20H	
		合計 40H	
使用する機械器具 等			

訓練科目カリキュラム表

科名	園芸サービス系造園科	教科の区分	系基礎学科
教科	土及び肥料		
訓練教科	土及び肥料	時間	40H
訓練目標	土壌の性質及び改良方法について知っていること。 肥料の種類、性質及び使用法について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
土壌の種類及び性質	土に対する基本知識 ・土の生成 ・土の種類 ・土の性質 ・土の粒状構造 ・土の酸度と植物		15H
土壌の改良法	・土壌化学性の改良 ・土壌物理性の改良 ・土壌生物性の改良		10H
植物栄養及び肥料	・肥料と植物 ・三要素 ・中量要素と微量元素 ・肥料の種類 ・施肥		15H
			合計 40H
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	園芸サービス系造園科	教科の区分	系基礎学科
教科	農業機械		
訓練教科	農業機械	時間	40H
訓練目標	各種農業用機械の種類、構造及び使用法についてよく知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
農業機械の種類 ・構造及び使用法	用途別の手工具と機械工具 ・剪定用工具 ・植栽、土地ならし用工具 ・竹垣工作用工具 ・石材工事用工具 ・運搬用具 ・仕上げ用工具 ・清掃用具 ・園芸用具 その他の機械工具 ・電動機工具 ・小型機械類 ・大型建設機械類	10H	
農業機械の 安全衛生教育	各種建設機械及び小型機械類の安全衛生教育(学科) *1時限は60分単位となる (例) ・小型車両系建設機械運転特別教育 ・伐木等の業務に係る特別教育 ・刈払機取扱作業安全衛生教育 ・小型移動式クレーン運転技能講習 ・玉掛け技能講習	30H (8H) (9H) (6H) (14H) (13H)	
		合計 40H	
使用する機械器具 等			

訓練科目カリキュラム表

科名	園芸サービス系造園科	教科の区分	系基礎学科
教科	安全衛生		
訓練教科	安全衛生	時間	30H
訓練目標	安全衛生についてよく知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
産業安全 及び労働衛生	工事現場における労働災害の原因と傾向、作業内容による ・一般安全心得 ・高所作業に対する安全心得 ・毒劇物に対する安全心得		5H
安全衛生管理の実 際	安全管理、衛生管理の実際について ・作業服装及び保護具 ・安全点検 ・整理整頓及び清潔の保持 ・機械災害の防止 ・工具等災害の防止 ・電気災害の防止 ・農薬等の災害防止 ・墜落災害の防止 ・取り扱い運搬災害の防止 ・草刈り作業の災害防止 ・事故時における応急措置		10H
安全衛生関係法令	労働安全衛生関係法、労働安全衛生法施行令、労働安全衛生規則、労働災害補償保険法		10H
事故例及び事故予 防	造園工事における事故例と事故予防		5H
			合計 30H
使用する機械器具 等			

訓練科目カリキュラム表

科名	園芸サービス系造園科	教科の区分	系基礎実技
教科	農業機械操作実習		
訓練教科	農業機械操作実習	時間	60H
訓練目標	各種農業用機械の取扱いがよいこと。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
各種農業機械取扱 い及び手入れ	・小型移動式クレーン ・パワーショベル ・刈払機 ・ヘッジトリマー ・噴霧器 ・チェーンソー ・エンジン発電機	30H	
農業機械の 安全衛生教育	各種建設機械及び小型機械類の安全衛生教育(実技) *1時限は60分単位となる (例) ・小型車両系建設機械運転特別教育 ・伐木等の業務に係る特別教育 ・刈払機取扱作業安全衛生教育 ・小型移動式クレーン運転技能講習 ・玉掛け技能講習	30H (6H) (8H) (1H) (8H) (8H)	
		合計 60H	
使用する機械器具等	・小型移動式クレーン ・パワーショベル ・刈払機 ・ヘッジトリマー ・噴霧器 ・チェーンソー ・エンジン発電機 など		

訓練科目カリキュラム表

科名	園芸サービス系造園科	教科の区分	系基礎実技
教科	土及び肥料準備実習		
訓練教科	土及び肥料準備実習	時間	40H
訓練目標	施肥を正しくできること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
土壌改良	植物系、鉢物系、合成化合物系の土壌改良剤の使用法		10H
施肥	鉢物への施肥 ・全層へ肥料を混ぜる方法 ・緩効性化成肥料 ・有機質肥料 樹木への施肥 ・ばらまく方法 ・集中的にまく方法（円状、放射状）		20H
培養土及び腐葉土づくり	培養土づくり、腐葉土づくりの方法		10H
			合計 40H
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	園芸サービス系造園科	教科の区分	系基礎実技
教科	栽培基本実習		
訓練教科	栽培基本実習	時間	80H
訓練目標	植物の病害虫の防除及び農薬の調整ができること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
栽培設備の取扱い 及び手入れ	ほ場整備、給水設備、遮光設備、防寒設備		10H
花卉栽培実習 緑化樹育成実習	花卉、樹木及び季節にあわせた ・繁殖作業 実生繁殖、挿し木繁殖 ・植え替え作業、移植作業 ・病害虫の防除作業 ・除草作業 刈払い機使用による除草 手抜き 除草剤散布		70H
			合計 80H
使用する機械器具 等	寒冷紗、防風ネット、噴霧器		

訓練科目カリキュラム表

科名	園芸サービス系造園科	教科の区分	系基礎実技
教科	安全衛生作業法		
訓練教科	安全衛生作業法	時間	20H
訓練目標	安全作業及び衛生作業がよくできること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
安全作業、衛生作業	造園工事での安全作業、衛生作業として ・作業服装・保護具の着用 ・安全点検の実施法 ・整理整頓の留意事項 ・機械、工具災害の一般的措置 ・電気災害の防止 ・一般的な墜落防止 (三脚、はしご、立木上の作業における留意事項)		8H
応急措置、救急措置	事故が発生したときの通報、救急措置、災害調査、再発防止対策など		7H
KYT活動	造園工事における危険予知トレーニング		5H
			合計 20H
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	園芸サービス系造園科	教科の区分	専攻学科
教科	庭園概論		
訓練教科	庭園概論	時間	40H
訓練目標	庭園の種類、構成及び特徴についてよく知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
庭園の歴史、様式、 作庭技法	日本庭園の歴史と様式及び技法 ・上古時代 ・飛鳥時代 ・奈良時代 ・平安時代 ・鎌倉時代 ・室町時代 ・安土/桃山時代 ・江戸時代 ・枯山水・茶庭の歴史/様式 西洋の造園様式 ・古代エジプト ・メソポタミア ・古代ギリシア ・古代ローマ ・中世(キリスト文化圏/イスラム教文化) ・ルネッサンス ・フランス平面幾何学式庭園 ・イギリス式風景式庭園		30H
造園計画	・造園の意義 ・造園の対象となる空間とその効用・機能 ・造園計画及び造園設計		10H
			合計 40H
使用する機械器具 等			

訓練科目カリキュラム表

科名	園芸サービス系造園科	教科の区分	専攻学科
教科	材料		
訓練教科	材料	時間	10H
訓練目標	植物以外の造園材料の種類、性質及び用途についてよく知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
造園材料の種類 性質及び用途	・石材/石造品 ・木材/竹材 ・繊維材料 ・セメント ・コンクリート製品 ・レンガ/タイル類 ・その他の材料		8H
材料試験	材料試験の種類、方法 ・スランプ試験 ・振動台式コンシステンシー試験		2H
			合計 10H
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	園芸サービス系造園科	教科の区分	専攻学科
教科	設計及び製図法		
訓練教科	設計及び製図法	時間	30H
訓練目標	土木製図及び建築製図について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
JIS製図規格 (土木製図 ・建築製図)	製図の一般事項、図面の表示法、立体製図の規格について ・用器画法による作図	10H	
造園設計	造園計画及び設計の特性 ・詳細図 ・平面図 ・透視図について	10H	
CAD概論	CADによる製図及び取扱いについて ・CADの基本操作	10H	
		合計 30H	
使用する機械器具等	パソコン、製図機及び製図用具		

訓練科目カリキュラム表

科名	園芸サービス系造園科	教科の区分	専攻学科
教科	造園法		
訓練教科	造園法	時間	50H
訓練目標	庭園用植物の種類及び植栽法についてよく知っていること。 造園工法についてよく知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
施工法	工作物の詳細図の説明、施工法、関連知識について ・四つ目垣・生垣 ・建仁寺垣(片面・両面) ・簀 ・枝折戸 ・藤棚 ・竜安寺垣 ・縁石 ・飛石 ・蹲踞 ・延段 ・石組み ・石垣	30H	
造園材料の施工管理	造園材料の品質、保管などの管理	5H	
造園植物の管理	造園植物の移植など造園工事上での造園植物の管理の基礎知識	5H	
屋上・壁面緑化技術 (計画・設計)	屋上・壁面緑化技術の基礎	5H	
緑地管理	緑地管理の基礎	5H	
		合計 50H	
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	園芸サービス系造園科	教科の区分	専攻学科
教科	測量法		
訓練教科	測量法	時間	40H
訓練目標	測量について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
距離及び角の測定	距離測量の種類、方法 ・直接距離測量 - 巻尺による測定 - 光波/GPSIによる測定 ・間接距離測量	10H	
多角測量	・トータルステーション(TS)の取扱い、据付け ・水平角の測定 ・鉛直角の測定 ・高低差測量 ・トラバース測量 ・三角測量	10H	
水準測量 スタジア測量	・レベルの取扱い、据付け ・直接水準測量 - レベルによる測定(野帳の記入方法) ・間接水準測量 ・スタジア測量	10H	
平板測量	・平板の据付け、振替 ・測量法(放射法、道線法、公会法)	10H	
		合計 40H	
使用する機械器具等	レベル・トータルステーション・トランシット・平板等		

訓練科目カリキュラム表

科名	園芸サービス系造園科	教科の区分	専攻学科
教科	仕様及び積算		
訓練教科	仕様及び積算	時間	20H
訓練目標	仕様及び積算について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
設計図書	・設計図書 ・設計図面(図面の種類、表示記号) ・公園緑地工事共通仕様書/特記仕様書 ・積算の定義 ・体系の基本方針の種類 ・工種体系の構成	10H	
仕様書		5H	
積算		5H	
		合計 20H	
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	園芸サービス系造園科	教科の区分	専攻学科
教科	関係法規		
訓練教科	関係法規	時間	10H
訓練目標	関係法規について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
労働関係法令	労働基準法、労働安全衛生法、労働安全衛生施行令、労働安全衛生規則	2H	
建設業法	建設業法、建設業法施行令	2H	
都市公園法	都市計画法、都市公園法、都市緑地法、古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法、生産緑地法、都市の美観風致を維持するための樹木保存に関する法律、土地区画整理法	3H	
自然公園法	自然公園法、自然環境保全法、自然再生推進法、生物多様性基本法	2H	
景観緑三法	景観法、景観法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律、都市緑地保全法の一部を改正する法律	1H	
		合計 10H	
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	園芸サービス系造園科	教科の区分	専攻実技
教科	根掘り及び植栽実習		
訓練教科	根掘り及び植栽実習	時間	50H
訓練目標	庭園用植物の掘取り・植栽・養生がよいこと。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
根掘り	みかん巻き、三つ掛け、四つ掛けによる根巻き方法 ・材料の準備と器工具の取り扱い ・灌水の方法 ・枝おろしとおおまかな剪定 ・下枝のしおり方 ・根掘り ・根巻き	20H	
植栽	樹木の植付け作業 ・材料の準備と器工具の取扱い ・植え穴掘り ・移植樹の立て込み ・水極めによる埋め戻し ・後片付け	20H	
地被	地被類の植栽作業 ・芝類 ・下草類	10H	
		合計 50H	
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	園芸サービス系造園科	教科の区分	専攻実技
教科	造園実習		
訓練教科	造園実習	時間	90H
訓練目標	設計図に従い造園工作物の工作・施工がよくできること。 各種造園用及び材料の取扱いがよくできること。 簡単な測量ができること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
造園工作物の 工作・施工	・竹垣類の製作 ・石組み ・ブロック積み ・レンガ積み ・石積み ・木製ベンチの製作 ・門松の製作		60H
簡単な庭の作製 (計画・設計・測量 ・施工)	庭園の制作(計画・設計・測量・施工)		30H
			合計 90H
使用する機械器具 等			

訓練科目カリキュラム表

科名	園芸サービス系造園科	教科の区分	専攻実技
教科	庭園管理実習		
訓練教科	庭園管理実習	時間	60H
訓練目標	庭園用植物の管理がよくできること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
各種庭園の総合的管理作業	・材料の準備及び器工具の取り扱い ・保護具の着用 ・樹木の枝の剪定 ・刈込み ・幹、枝の誘引 ・防腐剤の塗布 ・後始末		40H
緑地管理作業	除草作業 ・刈払機、乗用草刈機、自走式草刈機の使用による除草 ・手抜きによる除草作業 ・除草剤散布 ・防草シート		20H
			合計 60H
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	園芸サービス系造園科	教科の区分	専攻実技
教科	養生		
訓練教科	養生	時間	30H
訓練目標	庭園用植物の掘取り・植栽・養生がよいこと。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
幹巻き	・わらによる幹巻き ・緑化テープによる幹巻き		5H
支柱立て	・鳥居支柱 ・八掛け支柱 ・布掛け支柱 ・方杖支柱		15H
日除け	・寒冷紗による日除け		2H
風除け	・防風ネットの設置作業		2H
病虫害防除	農薬による防除 ・農薬の使い方 ・散布時の安全対策 ・後始末		6H
			合計 30H
使用する機械器具等	寒冷紗、防風ネット、噴霧器		

訓練科目カリキュラム表

科名	園芸サービス系造園科	教科の区分	専攻学科
教科	製図実習		
訓練教科	製図実習	時間	20H
訓練目標	土木製図及び建築製図について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
平面図・詳細図 CAD操作	手書き及びCAD ・小庭園の平面図 ・工作物の詳細図	10H	
透視図 CAD操作	手書き及びCAD ・小庭園の透視図(1点透視図、2点透視図)	10H	
		合計 20H	
使用する機械器具等	パソコン、製図機及び製図用具		

普通課程 塗装系：建築塗装科の時間表

区 分	教科の科目	授 業 科 目	時間数	備 考
系基礎学科	デザイン概論	デザイン概論	20	
	塗装法概論	塗装法概論	50	
	生産工学概論	生産工学概論	10	
	塗料概論	塗料概論	40	
	塗装設備及び機器	塗装設備及び機器	20	
	安全衛生	安全衛生	20	
	関係法規	関係法規	20	
	系基礎学科計		180	
系基礎実技	機械操作基本実習	機械操作基本実習	40	
	デザイン基本実習	デザイン基本実習	40	
	調色基本実習	調色基本実習	40	
	塗装基本実習	塗装基本実習	160	
	安全衛生作業法	安全衛生作業法	20	
	系基礎実技計		300	
専攻学科	建築構造	建築構造	20	
	塗料	塗料	20	
	塗装法	塗装法	90	
	試験法	試験法	20	
	仕様及び積算	仕様及び積算	20	
専攻実技	専攻学科計		170	
	塗装機器操作実習	塗装機器操作実習	40	
	建築物塗装実習	建築物塗装実習	190	
	塗料・塗膜検査実習	塗料・塗膜検査実習	20	
専攻実技計			250	
系基礎＋系専攻時間合計			900	
標準外時間＋一般教			500	
合計			1400	

訓練科目カリキュラム表

科名	塗装系建築塗装科	教科の区分	系基礎学科
教科	デザイン概論		
訓練科目	デザイン概論	時間	20H
訓練目標	デザインについて知っていること。 色彩基礎理論・色彩配色及び色彩調節について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.デザインの意味	デザインの定義、デザインの領域	2H	
2.色彩の基礎	色の基礎知識、色の知覚、色の混色、色彩心理、 色彩の表示方法、	6H	
3.意匠及び表現	形態と構成、美的形式原理 意匠法、意匠権の規制、意匠関係法令	6H	
4.色彩調節	配色と調和、色彩効果、色彩調節	6H	
		合計 20H	
使用する 機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	塗装系建築塗装科	教科の区分	系基礎学科
教科	塗装法概論		
訓練科目	塗装法概論	時間	50H
訓練目標	塗装の目的、対象領域、塗装方法の種類及び特徴について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.塗装の目的	塗装の目的、塗装の範囲	4H	
2.塗装の歴史	(1)江戸時代までの塗装の歴史 (2)明治時代から第二次世界大戦時までの塗装の歴史 (3)第二次世界大戦以降の塗装の歴史	4H	
3.塗装の対象領域	(1)金属 (2)木材 (3)建築物 (4)プラスチック	12H	
4.塗装方法	1. 各種塗装方法 (1)エアスプレー塗装 (2)エアレス塗装 (3)へら塗り (4)刷毛塗り (5)ローラー塗り (7)静電塗装 (8)電着塗装 (9)粉体塗装	30H	
		合計 50H	
使用する 機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	塗装系建築塗装科	教科の区分	系基礎学科
教科	生産工学概論		
訓練科目	生産工学概論	時間	10H
訓練目標	生産工学の基礎について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.材料及び機械の管理	生産工程と工程設計、塗装材料と塗装機器の管理、	5H	
2.品質管理	工程管理と品質検査	5H	
		合計 10H	
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	塗装系建築塗装科	教科の区分	系基礎学科
教科	塗料概論		
訓練科目	塗料概論	時間	40H
訓練目標	塗料の種類、性質及び用途について知っていること。 塗料の調色について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
1.塗料の構成・分類・性質及び原料	(1)塗料の構成(顔料、樹脂、溶剤等) (2)塗料の分類と性質 (3)塗料の性質 (4)塗料の原料		12H
2.塗装用補助材料	(1)漂白剤 (2)着色剤 (3)目止め剤 (4)研磨剤 (5)乾燥促進剤 (6)つや出し剤 (7)剥離剤 (8)その他		8H
3.被塗装物別の塗料及び特殊機能塗料	(1)被塗装物別の塗料(金属製品、木工製品、建築物、プラスチック製品) (2)特殊機能性塗料		10H
4.塗膜の硬化	(1)常温乾燥型塗料 (2)酸化重合乾燥型塗料 (3)焼付乾燥型塗料 (4)反応硬化型塗料 (5)紫外線硬化型塗料 (6)電子線硬化型塗料		10H
			合計 40H
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	塗装系建築塗装科	教科の区分	系基礎学科
教科	塗装設備及び機器		
訓練科目	塗装設備及び機器	時間	20H
訓練目標	塗装機器及び設備について知っていること。 吸排気装置及び乾燥装置について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.エアコンプレッサ	原理、構造、エアコンプレッサの種類と使い方 エアコンプレッサのメンテナンス	5H	
2.エアスプレー	エアスプレーの原理、混合方式による分類、 エアスプレーガンの構造と分類、 エアスプレーガンの取扱い	5H	
3.吸排気装置	塗装ブースの種類、塗装ブースの基本的構造（吸気、排気、内 圧制御）、風速と風量、塗装ブースの取扱い	5H	
4.乾燥装置	赤外線乾燥炉、熱風乾燥炉、その他の乾燥炉	5H	
		合計 20H	
使用する 機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	塗装系建築塗装科	教科の区分	系基礎学科
教科	安全衛生		
訓練科目	安全衛生	時間	20H
訓練目標	安全衛生についてよく知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
1.安全衛生管理	作業環境管理、作業管理と健康管理、安全衛生管理体制、労働安全衛生マネジメントシステム		5H
2.安全衛生関係法規	労働基準法、労働安全衛生法、労働安全衛生規則、作業環境測定法、		5H
3.安全作業法	塗装作業と安全衛生、火災及び爆発防止、作業服装と保護具、塗装工程におけるリスクアセスメント(危険性、有害性の着眼点)		10H
			合計 20H
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	塗装系建築塗装科	教科の区分	系基礎学科
教科	関係法規		
訓練科目	関係法規	時間	20H
訓練目標	関係法規について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.消防法	燃焼と消火、危険物表示、危険物の種類・特性・取扱い、塗料及びシンナーの管理・検査、危険物の規制に関する法令	8H	
2.労働安全衛生法	労働安全衛生規則、有機溶剤中毒予防規則、特定化学物質障害予防規則、粉塵障害予防規則、安全データシート(SDS)、	8H	
3.その他	PRTR法、VOC規制、大気汚染防止法、悪臭防止法	4H	
		合計 20H	
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	塗装系建築塗装科	教科の区分	系基礎実技
教科	機械操作基本実習		
訓練科目	機械操作基本実習	時間	40H
訓練目標	塗装用器工具の取扱いができること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.エアコンプレッサの取扱い及び手入れ	エアコンプレッサの操作と点検(起動、回転数、騒音、ドレン排出状況、冷却水温度状況、主要電動機電圧・電流状況)とメンテナンス	20H	
2.エアスプレー塗装機等の取扱い及び手入れ	塗料の粘度調整、エアスプレーガンの取扱い、エアトランスホーマーの取扱い、エアスプレーガンによる塗装方法、丸パターンと楕円パターン	20H	
		合計 40H	
使用する機械器具等	エアレススプレーガン、エアコンプレッサ、エアトランスホーマー、エアホース、粘度カップ、ストップウォッチ、		

訓練科目カリキュラム表

科名	塗装系建築塗装科	教科の区分	系基礎実技
教科	デザイン基本実習		
訓練科目	デザイン基本実習	時間	40H
訓練目標	色彩配色ができること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.図の構成	造形の基本要素である点、線、面での表現、平面形態の図形	10H	
2.色彩計画	平面における色彩構成、色彩の寒暖感・膨張感・軽重感、硬軟感等、画像の加工と配色	15H	
3.色彩配色	2色配色、3色配色、多色配色、インテリアの配色、エクステリアの配色	15H	
		合計 40H	
使用する機械器具等	画像編集加工装置		

訓練科目カリキュラム表

科名	塗装系建築塗装科	教科の区分	系基礎実技
教科	調色基本実習		
訓練科目	調色基本実習	時間	40H
訓練目標	塗料の調色がよくできること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.塗料の調色	調色の基礎、原色の特性、調色計量用具と関連機器、視感調色、計量調色、比色、	15H	
2.塗料の調合・調整	計量配合、粘度測定、ソリッドカラーの調色・調合、ソリッドカラーの調色・調合、メタリックカラーの調色・調合、パールカラーの調色・調合、	25H	
		合計 40H	
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	塗装系建築塗装科	教科の区分	系基礎実技
教科	塗装基本実習		
訓練科目	塗装基本実習	時間	160H
訓練目標	基本的な塗装ができること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.下地処理	素地調整、脱錆、脱脂、化成処理、下地付け	20H	
2.各種塗装作業	(1)塗装工程 塗料の調合・調色、下塗り、中塗り、上塗り、みがき (2)金属塗装の方法 (3)木工塗装の方法 (4)建築塗装の方法	70H	
3.マスキング	養生作業、マスキンテープの取扱い	10H	
4.塗膜の研磨	手研磨と機械研磨、空研ぎと水研ぎ	30H	
5.特殊塗料の塗装 及び補修塗装の 作業	特殊塗料の塗装方法 補修と装の方法	30H	
		合計 160H	
使用する 機械器具等	エアコンプレッサ、スプレーガン、各種サンダー、攪拌機		

訓練科目カリキュラム表

科名	塗装系建築塗装科	教科の区分	系基礎実技
教科	安全衛生作業法		
訓練科目	安全衛生作業法	時間	20H
訓練目標	安全作業及び衛生作業がよくできること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
1.安全衛生作業	1.整理整頓 2.安全保護具 3.清掃 4.健康診断 5.防災訓練		20H
			合計 20H
使用する機械器具等	エアコンプレッサ、スプレーガン、各種サンダー、攪拌機		

訓練科目カリキュラム表

科名	塗装系建築塗装科	教科の区分	専攻学科
教科	建築構造		
訓練科目	建築構造	時間	20H
訓練目標	建築構造について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.各種建築構造の特徴	(1)木構造 (2)鉄筋コンクリート造 (3)鉄骨造 (4)鉄骨鉄筋コンクリート造	10H	
2.各種建築構造の主要部分の名称	(1)軸組 (2)小屋組み (3)屋根及び軒 (4)天井 (5)床 (6)壁 (7)窓及び出入り口 (8)建具 (9)階段 (10)造作	10H	
		合計 20H	
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	塗装系建築塗装科	教科の区分	専攻学科
教科	塗料		
訓練科目	塗料	時間	20H
訓練目標	建築物塗装用塗料の種類及び性質について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
1.建築物塗装用塗料の種類及び性質	(1)木質系素地用透明塗料 (2)木質系素地用不透明塗料 (3)金属系素地用塗料 (4)さび止め塗料 (5)無機質系壁面用塗料 (6)仕上げ塗材 (7)機能性塗料		20H
			合計 20H
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	塗装系建築塗装科	教科の区分	専攻学科
教科	塗装法		
訓練科目	塗装法	時間	90H
訓練目標	建築物の塗装の種類及び特徴についてよく知っていること。 建築塗装の工程、前処理、についてよく知っていること。 建築塗装用機械及び器工具の種類、構造及び使用法について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
1.各種塗装作業	(1)はけ塗り (2)ローラーブラシ塗り (3)ヘラ付け (4)エアスプレー塗装 (5)エアレススプレー塗装 (6)静電塗装 (7)その他の塗装法		20H
2.塗膜の研磨	(1)研磨方法 (2)研磨紙及び研磨作業に使用する器工具の使い方 (3)みがき作業		6H
3.特殊塗料の塗装	(1)特殊塗料の塗装法		4H
4.変り塗り	(1)各種変り塗り塗装法		4H
5.補修塗装	(1)補修塗装の工程 (2)劣化減少の種類、進行程度と劣化要因 (3)塗料の選定		6H
6.建築材料の性質	(1)木質系素材 (2)金属系素材 (3)無機質系素材		10H
7.建築物の塗装法	(1)木質系素地の塗装 (2)金属系素地の塗装 (3)無機質系素地の塗装		30H
8.建築物の塗装工程	(1)素地調整 (2)塗替え時期の判定 (3)旧塗膜の剥離方法 (4)養生 (5)塗料の調製及び配合 (6)調色作業 (7)塗装作業		10H
			合計 90H
使用する 機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	塗装系建築塗装科	教科の区分	専攻学科
教科	試験法		
訓練科目	試験法	時間	20H
訓練目標	塗料及び塗膜の試験法について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
1.試験の一般条件	(1)試験法の目的 (2)試験法の分類 (3)試験の留意事項		2H
2.塗料及び塗膜の試験方法	(1)塗料粘度の測定 (2)塗料の比重試験 (3)塗料の粒度試験 (4)塗料の乾燥時間試験 (5)塗料の透明性試験 (6)塗料の貯蔵安定性試験 (7)塗料の塗料のその他の試験 (8)塗膜の外観試験 (9)膜厚試験測定 (10)塗膜の隠ぺい力試験 (11)塗膜の付着性試験 (12)塗膜の耐候性試験 (13)塗膜の耐熱性試験 (12)塗膜の耐水性試験 (13)塗膜の耐揮発油性試験		18H
			合計 20H
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	塗装系建築塗装科	教科の区分	専攻学科
教科	仕様及び積算		
訓練科目	仕様及び積算	時間	20H
訓練目標	仕様及び積算について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
1.仕様書	(1)仕様書の意義 (2)仕様書の読み方		2H
2.仕様書の作成	(1)仕様選定方法 ①新規塗装 ②補修塗装 (2)仕様書作成		6H
3.仕様書及び 設計図	(1)設計図書とは (2)図面の読み方 (3)日本工業規格(JIS) (4)公共建築工事標準仕様書 (5)公共建築改修工事標準仕様書		4H
4.積算	(1)積算の意義 (2)積算方法 (3)塗装工事の内訳 ①直接工事費 ②準工事費 ③工事原価 ④工事価格 (4)塗装工事の算出		4H
5.見積り	(1)積算と見積書の作成 ①建物の実測 ②仕様書作成 ③見積書作成 ④模擬打合せ(工事受注まで)		4H
			合計 20H
使用する 機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	塗装系建築塗装科	教科の区分	専攻実技
教科	塗装機器操作実習		
訓練科目	塗装機器操作実習	時間	40H
訓練目標	はけ塗り、ローラーブラシ塗り及び吹付け塗装ができること。 建築物に適した塗装ができること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.建築物塗装用 機器及び器工具 の取扱い及び 手入れ	(1)はけの取扱い及び手入れ (2)ローラーブラシの取扱い及び手入れ (3)ヘラの取扱い及び手入れ (4)エアコンプレッサーの取扱い及び手入れ (5)エアスプレーガンの取扱い及び手入れ (6)リシンガン及びタイルガンの取扱い及び手入れ (7)その他の塗装装置の取扱い及び手入れ (8)エアレススプレー塗装装置の取扱い及び手入れ	40H	
		合計 40H	
使用する 機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	塗装系建築塗装科	教科の区分	専攻実技
教科	建築物塗装実習		
訓練科目	建築物塗装実習	時間	190H
訓練目標	下地調整、下地材の調合及び下地付けがよくできること。 研磨作業がよくできること。 仕上げができること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.建築物の下地調整・調合調色及び塗装	(1)建築物の内装塗装 (2)建築物の外壁塗装 (3)屋根・屋上の塗装 (3)鉄骨構造物の塗装 (4)仕上げ塗材 (5)デコレーションペイント	60H 30H 20H 20H 8H 12H	
2.足場の設置	(1)足場の設置及び解体	6H	
3.高所作業	(1)高所での塗装作業	34H	
		合計	190H
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	塗装系建築塗装科	教科の区分	専攻実技
教科	塗料・塗膜検査実習		
訓練科目	塗料・塗膜検査実習	時間	20H
訓練目標	塗装の良否が判定できること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
1.塗料及び塗膜の検査	(1)色と艶の検査 ①色の測定 ②色差 ③光沢 (2)隠ぺい力の検査 (3)塗膜の物理的強さの検査 ①硬さ ②たわみ性・耐衝撃性 (4)膜厚の検査 (5)付着性の検査 (6)塗料・塗膜の欠陥に関する検査 ①たれ ②にじみ(ブリード) ③かぶり(ブラッシング) ④ふくれ(ブリストー)		20H
			合計 20H
使用する機械器具等			

普通課程 オフィスビジネス系：O A 事務科の時間表

区分	教科の科目	授 業 科 目	時間数	備 考
系基礎学科	事務一般	事務一般	80	
	OA機器	OA機器	60	
	コミュニケーション概論	コミュニケーション概論	10	
	応接法	応接法	30	
	安全衛生	安全衛生	20	
	系基礎学科計			200
系基礎実技	事務処理基本実習	事務処理基本実習	80	
	OA機器操作基本実習	OA機器操作基本実習	80	
	応接実習	応接実習	40	
	コミュニケーション実習	コミュニケーション実習	20	
	安全衛生作業法	安全衛生作業法	10	
	系基礎実技計			230
専攻学科	文書実務	文書実務	40	
	簿記及び会計	簿記及び会計	100	
	OA機器操作法	OA機器操作法	60	
	プレゼンテーション概論	プレゼンテーション概論	10	
	専攻学科計			210
専攻実技	簿記及び会計実習	簿記及び会計実習	100	
	OA機器操作実習	OA機器操作実習	200	
	プレゼンテーション実習	プレゼンテーション実習	20	
	専攻実技計			320
系基礎＋系専攻時間合計			960	
標準外時間＋一般教			440	
合計			1400	

訓練科目カリキュラム表

科名	オフィスビジネス系OA事務科	教科の区分	系基礎学科
教科	事務一般		
訓練科目	事務一般	時間	80H
訓練目標	事務一般について知っていること。 各種事務文書の様式について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.売買取引における関連文書及び関連法等	見積依頼書と見積書、注文書と注文請書、納品書・請求書と物品受領書	10H	
2.企業形態	株式会社、有限会社、合資会社、合名会社	10H	
3.社会保険	社会福祉、公的扶助等、医療保険、労働保険	20H	
4.事務機器	事務OA機器(パソコン、複写機、シュレッダ、監視カメラ等)、オ	5H	
5.組織内の人間関係	批判・非難、防御p、侮辱、無視・逃避、コミュニケーション	10H	
6.租税の概要	納税の義務、国税と地方税、普通税と目的税	15H	
7.ビジネス情報倫理	情報社会とセキュリティ、個人情報等	10H	
		合計 80H	
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	オフィスビジネス系OA事務科	教科の区分	系基礎学科
教科	OA機器		
訓練科目	OA機器	時間	60H
訓練目標	OA機器の種類、機能及び使用法並びにビジネスソフトの機能について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.OA機器の種類	パソコン、複写機・複合機、FAX、ビジネス電話	10H	
2.OA機器の使用法	ネットワークでの複合機活用、	10H	
3.ビジネスソフトの種類と特徴	オフィス(ワープロ、表計算、プレゼンテーション)、データベース、画像編集	40H	
		合計 60H	
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	オフィスビジネス系OA事務科	教科の区分	系基礎学科
教科	コミュニケーション概論		
訓練科目	コミュニケーション概論	時間	10H
訓練目標	コミュニケーションスキル、プレゼンテーションスキルについて知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.コミュニケーションスキル	言語コミュニケーション、非言語コミュニケーション	5H	
2.プレゼンテーションスキル	伝える目的、伝える内容、伝える手段、伝える技術	5H	
		合計 10H	
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	オフィスビジネス系OA事務科	教科の区分	系基礎学科
教科	応接法		
訓練科目	応接法	時間	30H
訓練目標	応接及び会話の方法並びに電話の対応法についてよく知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.接遇一般	コミュニケーション、人間の心理と印象、身だしなみ、心意ある挨拶、言葉づかい、接客マナー	15H	
2.電話・電子メール・ファクシミリによる応対法	電話応対、訪問時マナー、来客応対、名刺交換、クレーム対応	15H	
		合計 30H	
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	オフィスビジネス系OA事務科	教科の区分	系基礎学科
教科	安全衛生		
訓練科目	安全衛生	時間	20H
訓練目標	安全衛生について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.産業安全	安全衛生と管理体制	5H	
2.労働衛生	作業環境管理、作業管理と健康管理	5H	
3.公害防止/職場 適応	安全な作業環境(粉じん、水質等)	5H	
4.VDT作業	ITの普及とVDT作業、VDT作業と休憩	5H	
		合計 20H	
使用する 機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	オフィスビジネス系OA事務科	教科の区分	系基礎実技
教科	事務処理基本実習		
訓練科目	事務処理基本実習	時間	80H
訓練目標	事務一般の文書作成ができること。 事務機器を用いて基本計算ができること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.売買取引における関連文書作成	売買取引に係る文書(見積依頼書、見積書、注文書、注文請書、納品書、請求書、物品受領書)の作成	30H	
2.代金決済	経理計算実務、パソコン活用経理計算	15H	
3.社会保険事務の計算	健康保険、介護保険、年金保険、労災保険、雇用保険の社会保険各種計算	35H	
		合計 80H	
使用する機械器具等	パソコン、プリンタ、他		

訓練科目カリキュラム表

科名	オフィスビジネス系OA事務科	教科の区分	系基礎実技
教科	OA機器操作基本実習		
訓練科目	OA機器操作基本実習	時間	80H
訓練目標	事務一般の文書作成ができること。 事務機器を用いて基本計算ができること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1. パーソナルコンピュータの取扱い	パソコンとOS、ネットワーク、インターネット、セキュリティ	25H	
2. ビジネスソフト基本操作	文章作成、表計算	40H	
3. その他OA機器の取扱い	複合機のネットワーク活用、メール活用	15H	
		合計 80H	
使用する機械器具等	パソコン、プリンタ 他		

訓練科目カリキュラム表

科名	オフィスビジネス系OA事務科	教科の区分	系基礎実技
教科	応接実習		
訓練科目	応接実習	時間	40H
訓練目標	訪問者及び電話等による応接会話がよくできること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.電話応対ロールプレイング	電話応対、電話取り次ぎ	15H	
2.訪問時ロールプレイング	挨拶、名刺交換、席順	15H	
3.来客応対ロールプレイング	挨拶、名刺交換	10H	
		合計 80H	
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	オフィスビジネス系OA事務科	教科の区分	系基礎実技
教科	コミュニケーション実習		
訓練科目	コミュニケーション実習	時間	20H
訓練目標	コミュニケーション・プレゼンテーションがよくできること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.相互信頼形成	挨拶、身だしなみ、態度等の接客5原則	5H	
2.双方向のコミュニケーション	受け止める姿勢の聴き方の対応	10H	
3.プレゼンテーション	聴き方が主役のプレゼンテーション	5H	
		合計 20H	
使用する機械器具等	パソコン、プリンタ 他		

訓練科目カリキュラム表

科名	オフィスビジネス系OA事務科	教科の区分	系基礎実技
教科	安全衛生作業法		
訓練科目	安全衛生作業法	時間	10H
訓練目標	安全作業及び衛生作業ができること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.安全衛生作業	リスクアセスメントによる有害・危険性の低減(有機溶剤系塗装作業時の強制換気 他)	10H	
		合計 10H	
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	オフィスビジネス系OA事務科	教科の区分	専攻学科
教科	文書実務		
訓練科目	文書実務	時間	40H
訓練目標	文書の作成、文書整理、記録及び計算の日常事務処理がよくできること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.文書の作成	社内文書、社外文書、敬語、5W3H、正確・簡潔・わかりやすい・丁寧	20H	
2.文書整理	分類、ラベリング、情報システム、紙媒体と電子媒体、文書ファイルの保存法	10H	
3.記録及び計算の日常事務	給与計算・社会保険等の計算、受付記録簿等	10H	
		合計 40H	
使用する機械器具等	パソコン、プリンタ 他		

訓練科目カリキュラム表

科名	オフィスビジネス系OA事務科	教科の区分	専攻学科
教科	簿記及び会計		
訓練科目	簿記及び会計	時間	100H
訓練目標	商業簿記について知っていること。 簿記の記帳方法についてよく知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
1.簿記の原理	貸借平均の複式簿記、営業取引・決算取引、取引の8要素		35H
2.現金・預金等の取引	発生主義の記帳と現金主義の記帳、普通預金取引の仕訳		25H
3.商品売買取引き	三分法、分記法、売上原価対立法		25H
4.手形取引等	約束手形、為替手形		15H
			合計 100H
使用する機械器具等	パソコン、プリンタ 他		

訓練科目カリキュラム表

科名	オフィスビジネス系OA事務科	教科の区分	専攻学科
教科	OA機器操作法		
訓練科目	OA機器操作法	時間	60H
訓練目標	アプリケーションソフトについてよく知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.ビジネスソフトの使用法	文書作成、表計算、データベース、プレゼンテーション、描画等のオフィスソフトウェア	50H	
2.パーソナルコンピュータの使用法	USB・SSDの活用、インターネット、セキュリティ	10H	
		合計 60H	
使用する機械器具等	パソコン、プリンタ 他		

- 332 -

訓練科目カリキュラム表

科名	オフィスビジネス系OA事務科	教科の区分	専攻実技
教科	簿記及び会計実習		
訓練科目	簿記及び会計実習	時間	100H
訓練目標	商業簿記の記帳処理ができること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
1.商業簿記	簿記一巡の手続き、貸借対照表、損益計算書、手形と債権債務、有価証券、引当金		50H
2.決算書及び財務諸表の作成	仕訳帳・総勘定元帳による貸借対照表・損益計算書作成、財務諸表の作成		40H
3.財務諸表の分析	財務諸表の5つの視点(総合力、収益性、安全性、効率性、成長性)		10H
			合計 100H
使用する機械器具等	パソコン、プリンタ 他		

訓練科目カリキュラム表

科名	オフィスビジネス系OA事務科	教科の区分	専攻実技
教科	OA機器操作実習		
訓練科目	OA機器操作実習	時間	200H
訓練目標	アプリケーションソフトによる処理がよくできること。 文書の作成、文書整理、記録及び計算の日常事務処理ができること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.文書作成及びデータ処理	オフィスアプリケーションソフトによる文書作成、表計算実習	120H	
2.その他アプリケーションソフト操作	オフィスアプリケーションソフトによるデータベース作成と分析、プレゼンテーション資料作成、描画実習	80H	
		合計 200H	
使用する機械器具等	パソコン、プリンタ オフィスアプリケーションソフト 他		

訓練科目カリキュラム表

科名	オフィスビジネス系OA事務科	教科の区分	専攻実技
教科	プレゼンテーション実習		
訓練科目	プレゼンテーション実習	時間	20H
訓練目標	プレゼンテーション資料の作成と発表ができること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.資料作成	全体の流れ、デザイン・レイアウト、アウトライン機能	14H	
2.提示実習	スライド表示と発表、聴衆と評価	6H	
		合計 20H	
使用する 機械器具等	パソコン、プリンタ、プレゼンテーションソフト 他		

普通課程 理容・美容系：美容科の時間表

区分	教科の科目	授 業 科 目	時間数	備 考
系基礎学科	理容・美容技術概論	理容・美容技術概論	20	
	衛生管理	衛生管理	80	
	保健	保健	90	
	香粧品化学	香粧品化学	50	
	運営管理	運営管理	30	
	安全衛生	安全衛生	15	
系基礎学科計			285	
系基礎実技	理容・美容基本実習	理容・美容基本実習	70	
	消毒実習	消毒実習	10	
	香粧品化学実習	香粧品化学実習	10	
	安全衛生作業法	安全衛生作業法	25	
系基礎実技計			115	
専攻学科	文化論	文化論	60	
	美容技術理論	美容技術理論	150	
	関係法規・制度	関係法規・制度	30	
専攻学科計			240	
専攻実技	美容実習	美容実習	830	
専攻実技計			830	
系基礎＋系専攻時間合計			1470	
標準外時間＋一般教			1330	
合計			2800	

訓練科目カリキュラム表

科名	理容・美容系美容科	教科の区分	系基礎学科
教科	理容・美容技術概論		
訓練科目	理容・美容技術概論	時間	20H
訓練目標	理容・美容器具の取扱法及び基礎技術についてよく知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
1.器具の取扱い	美容器具の物理的基本事項、種類、各部の名称、使用目的、形態と機能、選定方法、基本操作方法、手入れ方法、金属の物性、保守管理の方法		10H
2.基礎技術	美容技術の意義・心得、人体各部の名称、技術者の位置・姿勢、身体機能及び美容技術の基礎知識		10H
			合計 20H
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	理容・美容系美容科	教科の区分	系基礎学科
教科	衛生管理		
訓練科目	衛生管理	時間	80H
訓練目標	公衆衛生(環境衛生を含む。)についてよく知っていること。 感染症及びその予防法について知っていること。 消毒法についてよく知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
1.公衆衛生概説	公衆衛生、公衆衛生史、予防医学・環境衛生、保健所の機能		15H
2.感染症	理容・美容に係る感染症、理容所・美容所における衛生措置		25H
3.環境衛生	理容・美容における環境衛生(採光、照明、換気、構造設備、衣服)		15H
4.衛生管理技術	衛生管理、消毒の意義・目的、消毒方法の種類・原理・特徴		25H
			合計 80H
使用する 機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	理容・美容系美容科	教科の区分	系基礎学科
教科	保健		
訓練科目	保健	時間	90H
訓練目標	人体の構造及び機能についてよく知っていること。 皮膚とその付属器官の構造、機能・保健衛生及び疾患についてよく知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.人体の構造及び機能	人体の各部の名称、頭部・顔部及び頸部の解剖学的特徴、人体の頭部・顔部及び頸部の骨格、筋の種類、構造、特徴	30H	
2.皮膚及び皮膚付属器官の構造・機能	皮膚、皮膚付属器官の構造及び機能	20H	
3.保健衛生	皮膚、皮膚付属器官の保健衛生	15H	
4.疾患	皮膚及び皮膚付属器官の疾患	25H	
		合計 90H	
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	理容・美容系美容科	教科の区分	系基礎学科
教科	香粧品化学		
訓練科目	香粧品化学	時間	50H
訓練目標	香粧品について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.香粧品の化学	化学の基本原理、香粧品の種類・使用目的・成分・作用原理・使用上の注意	50H	
		合計 50H	
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	理容・美容系美容科	教科の区分	系基礎学科
教科	運営管理		
訓練科目	運営管理	時間	30H
訓練目標	理容・美容に関する経営管理等について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.経営管理	経営戦略と経営管理の基本的理論、美容所の運営に必要な経理事務	10H	
2.労務管理	労務管理の基本的理論、社会保険・雇用保険の仕組み	10H	
3.接客法	社会人としての一般常識、接客の意義・技術	10H	
		合計 30H	
使用する 機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	理容・美容系美容科	教科の区分	系基礎学科
教科	安全衛生		
訓練科目	安全衛生	時間	15H
訓練目標	安全衛生についてよく知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.産業安全	安全衛生と管理体制	4H	
2.労働衛生	作業環境管理、作業管理と健康管理	4H	
3.労働災害	労働災害と労働災害保険	4H	
4.関係法規	労働基準法、労働安全衛生法	3H	
		合計 15H	
使用する 機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	理容・美容系美容科	教科の区分	系基礎実技
教科	理容・美容基本実習		
訓練科目	理容・美容基本実習	時間	70H
訓練目標	理容・美容器具の取扱いができること。 理容・美容の基礎技術に関する基本動作ができること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.器具の取扱い実習	美容器具の操作方法、消毒方法、手入れ方法、用途に適した美容器具の選択方法	25H	
2.基礎技術実習	美容技術を行う基本位置・基本姿勢・基本動作、美容所の衛生管理に必要な措置	45H	
		合計 70H	
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	理容・美容系美容科	教科の区分	系基礎実技
教科	衛生管理消毒実習		
訓練科目	衛生管理消毒実習	時間	10H
訓練目標	消毒ができること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.衛生管理技術	適切な消毒方法の選択と適正な実施方法、代表的な消毒方法の正しい操作方法	10H	

訓練科目カリキュラム表

科名	理容・美容系美容科	教科の区分	系基礎実技
教科	香粧品化学実習		
訓練科目	香粧品化学実習	時間	10H
訓練目標	化学薬品の取扱い及び溶液の調整ができること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
香粧品化学実習	化学薬品の取扱い、溶液の調製法		10H
			合計 10H
使用する 機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	理容・美容系美容科	教科の区分	系基礎実技
教科	安全衛生作業法		
訓練科目	安全衛生作業法	時間	25H
訓練目標	安全作業及び衛生作業がよくできること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.安全衛生作業	美容技術を行う上での安全作業及び衛生作業	25H	
		合計 25H	
使用する 機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	理容・美容系美容科	教科の区分	専攻学科
教科	文化論		
訓練科目	文化論	時間	60H
訓練目標	美容の文化史、及び服飾について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
1.美容文化史	美容文化の歴史及び沿革 国内外の美容ファッションの変遷 流行を追う心理、社会に及ぼす影響、意義・役割		30H
2.服飾	服飾の原理・意義、歴史のあらまし、衣服の種類、エチケット		30H
			合計 60H
使用する 機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	理容・美容系美容科	教科の区分	専攻学科
教科	美容技術理論		
訓練科目	美容技術理論	時間	150H
訓練目標	美容技術の手法及び理論についてよく知っていること。 美容で使用する器具の構造・原理・取扱い法及び頭部、顔部、頸部技術、特殊技術、和装技術についてよく知っていること。 美容デザインについてよく知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
1.頭部、顔部及び頸部技術	基本的な頭部・顔部及び頸部技術の目的・種類・特徴、技術上の注意点		60H
2.特殊技術	美容の特殊技術の目的・種類・特徴、技術上の注意点		45H
3.和装技術	日本髪の基本知識・技術、かつら、和装に関する一般知識、着付け技術		30H
4.美容デザイン	ヘアデザインの造形の意義と応用、色彩の原理と応用		15H
			合計 150H
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	理容・美容系美容科	教科の区分	専攻学科
教科	関係法規・制度		
訓練科目	関係法規・制度	時間	30H
訓練目標	美容関係法規について知っていること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容	訓練時間	
1.衛生行政	法律、政治、行政の役割・機能や仕組み、衛生行政の意義、保健所の任務、活動及び組織	5H	
2.美容師法	美容師法の沿革、免許制度、美容師試験、養成施設、衛生措置など	15H	
3.その他の関係法規	生活衛生関係営業及び消費者保護関連法規の意義と内容	10H	
		合計 30H	
使用する機械器具等			

訓練科目カリキュラム表

科名	理容・美容系美容科	教科の区分	専攻実技
教科	美容実習		
訓練科目	美容実習	時間	830H
訓練目標	頭部・顔部及び頸部技術がよくできること。 特殊技術がよくできること。 和装技術がよくできること。 現場のニーズにより即した総合的かつ実践的な技術ができること。		
訓練科目の細目	訓練科目の内容		訓練時間
1.頭部、顔部及び頸部技術実習	基本的な頭部技術、メイクアップ、まつ毛エクステンション、その他基本的な顔部及び頸部技術		450H
2.特殊技術実習	エステティック技術、ネイル技術などの美容特殊技術		200H
3.和装技術実習	日本髪結髪技術、かつらのあわせ方・かぶせ方、着付け技術		70H
4.総合実習	調和のとれた美容技術を完成させるための総合的な技術 現場のニーズにより即した実践的な技術		110H
			合計 830H
使用する機械器具等			

本報告書等は、基盤整備センターホームページの「基盤整備センター刊
行物検索」から閲覧、ダウンロードができます。

URL : <http://www.tetras.uitec.jeed.or.jp/>

調査研究報告書 No.175

「職業訓練基準の分野別見直しに係る基礎研究(普通課程)」

発行 2019年3月
発行者 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
職業能力開発総合大学校 基盤整備センター
所長 角 修二
〒187-0035 東京都小平市小川西町2-32-1
電話 042-348-5075 (企画調整課)
印刷 株式会社丸井工文社
〒107-0062 東京都港区南青山7-1-5
電話 03-5464-7111

本書の著作権は独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が有しております。

ISSN 1340-2412

調査研究報告書 No.175
2019

THE INSTITUTE OF RESEARCH AND DEVELOPMENT
POLYTECHNIC UNIVERSITY